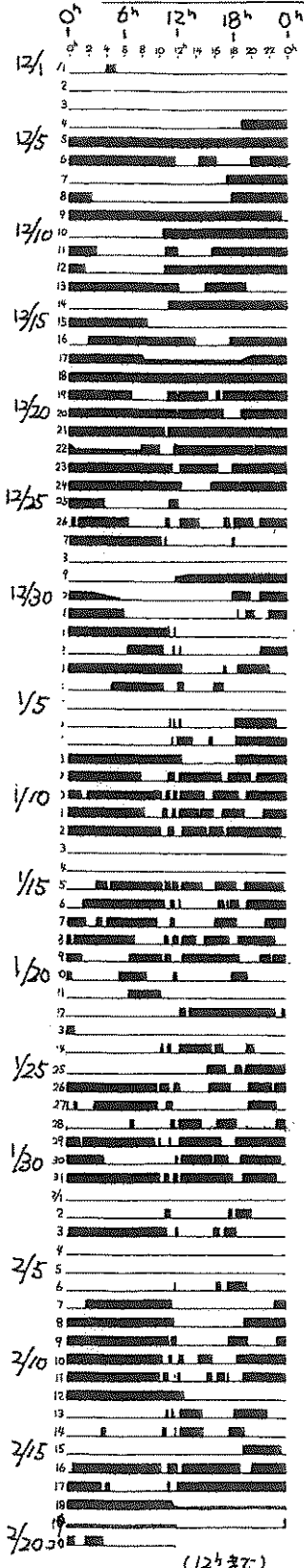


原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

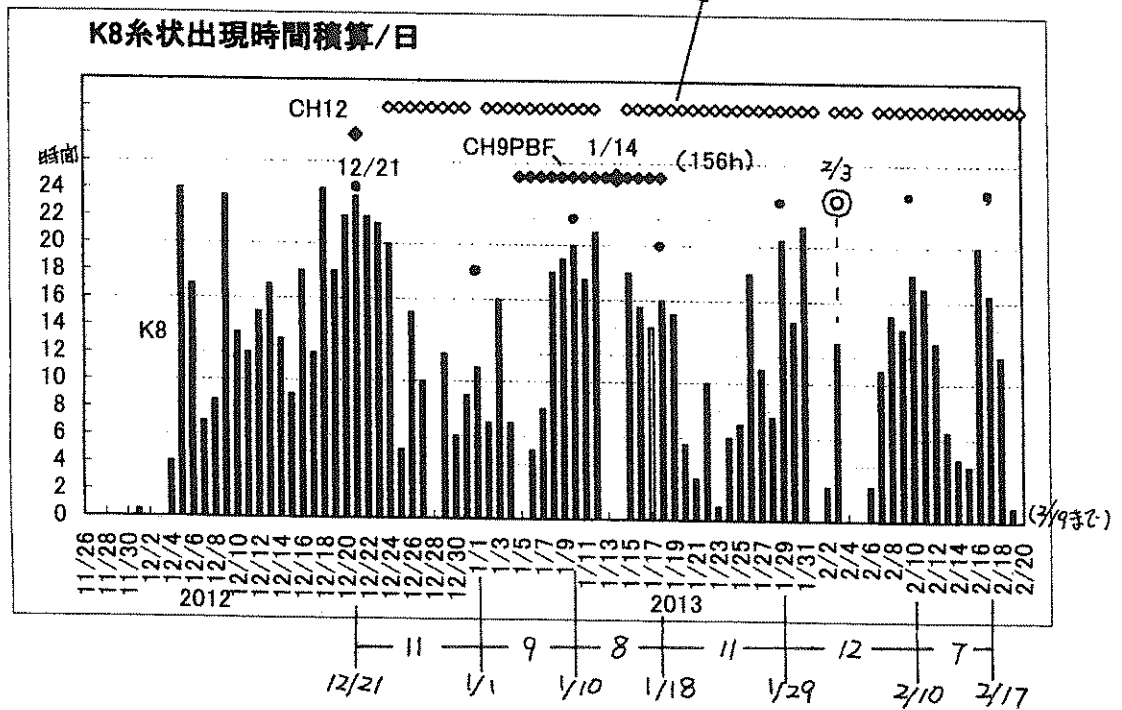
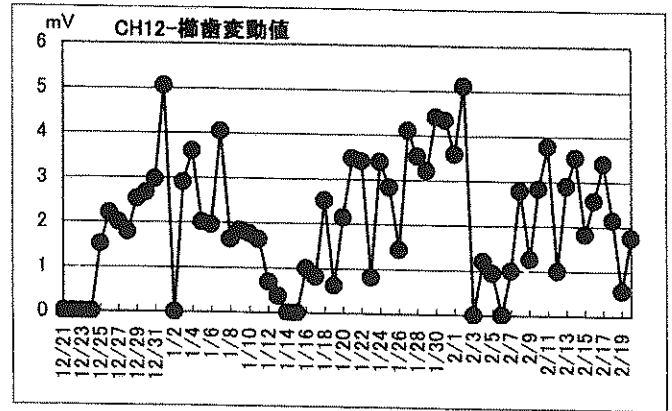
No.1778 近畿圏地殻大型地震の可能性推定前兆続報 現況報告



No.1778=長期継続特殊前兆=近畿圏地殻大型地震推定前兆の続報、現況報告です。

No.1778関連認識前兆は顕著に継続中です。左は昨年12月初旬から出現した高知観測点のK8観測装置の基線が糸状状態となる特異の出現状況を表したスケッチです。横軸一本が一日で、糸状特異出現時間帯は黒くして表示。

下は、K8糸状特異の日々の出現継続時間計を示したグラフで、右は昨年12/21以降出現した、八ヶ岳のCH12観測装置の楕歯状BF(地殻地震特有前兆)の基線からの変動値変化グラフ。



左のK8糸状特異の日々変化スケッチでも、上の日々糸状態出現継続時間計グラフでも、昨年12/21の大きな山以降、ブロック的な出現が認められます。各ブロック的出現の中心時期は、ランダムではなく、ある程度周期性がある様にも見えます。極大以降に継続出現する、基線幅増大BT前兆に周期性変化が認められる場合には、周期性の平均値の6倍値又は9倍値を、周期性の認められない小ピーク日に加算しますと、地震発生時期±3日が認められる経験則があります。このK8の前兆は、基線幅増大BTではなく、基線の振動が無くなる糸状特異であるため、BTの周期性変化経験則が当てはまるか否かは不明ですが、一応上のとおりの各ブロック中心を求めて、周期性が無いと認識される2013年02月03日に6又は9倍値を加算しますと、
平均周期=9.6日 $2/3 + (9.6 \times 6) = 4月01日 \pm 3$
平均周期=9.6日 $2/3 + (9.6 \times 9) = 4月30日 \pm 3$ ※

が計算されます。

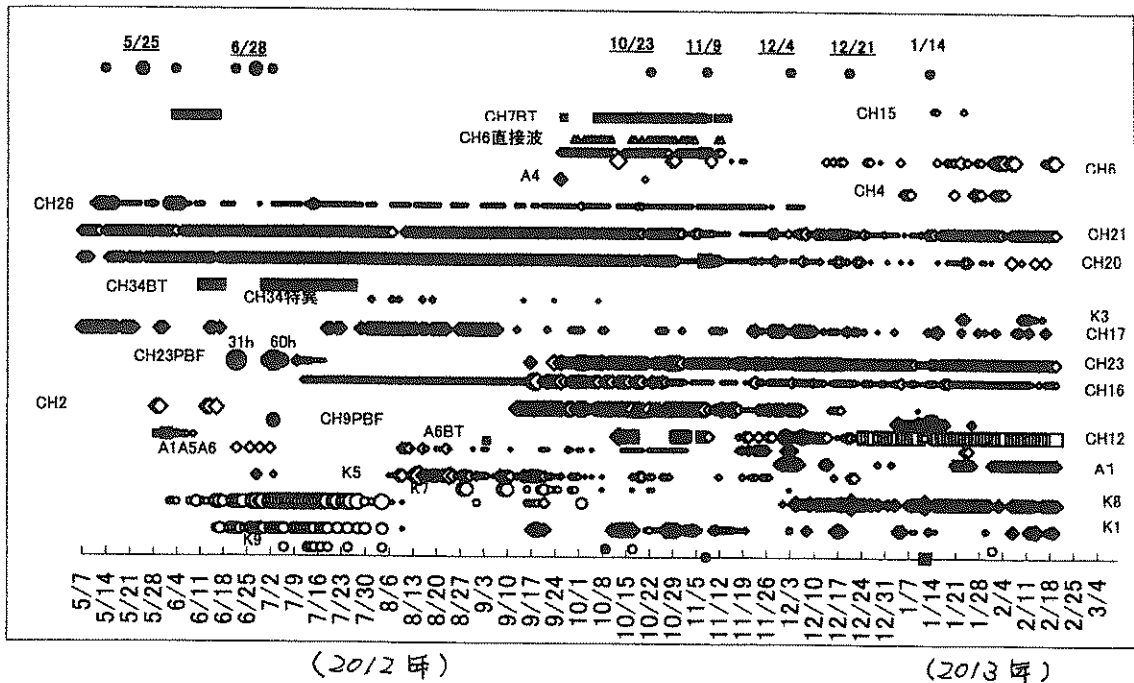
現在、No.1778の第3期前兆群中から先行特異が出現していた可能性と云う認識と、現在の第4期前兆群の出現形態から示唆される、推定発生時期の可能性である、4月下旬とは、上の場合、9倍値では調和することになります。但し、BTの周期性変化と同様に経験則が適用できるのか、またこれが最終段階であるのか等の確定は困難です。

K8糸状特異出現スケッチ (12/21まで)

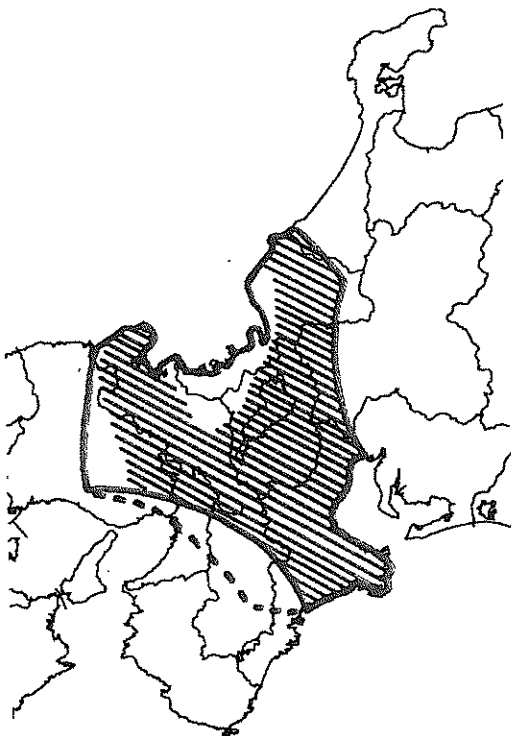
原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 近畿圏地殻大型地震の可能性推定前兆続報 現況報告



No.1778 2012年05月～現在の第4期前兆群認識 前兆出現変化状況図



No.1778前兆からの推定領域図

斜線領域は歪み速度考慮の参考推定領域

No.1778前兆は全体は、上図のような出現変化を示しております。
極大と認識されるものは、上図の上部・印(日付入)で、1/14以降は明確な極大認識が認められません。

以前にも報告致しましたが、仮に現在の発生時期の可能性(4/29 ±)が正しい場合は、後半の前兆極大に対しての前兆終息変化が次の各時期に認められる可能性が示唆されます。

- ①2012.10/23極大認識 ⇨ 前兆終息時期推定 = 2013.3/11 ±
- ②2012.11/09極大認識 ⇨ 前兆終息時期推定 = 2013.3/16 ±
- ③2012.12/04極大認識 ⇨ 前兆終息時期推定 = 2013.3/22 ±
- ④2012.12/21極大認識 ⇨ 前兆終息時期推定 = 2013.3/26 ±
- ⑤2013.01/14極大認識 ⇨ 前兆終息時期推定 = 2013.4/02 ±

現在の第4期前兆群が最終段階である可能性が否定できませんので、注意して観測解析を続けています。

●推定領域=左図太線領域内(斜線領域=可能性が考え易い推定領域)

●推定規模=M7.9 ± 0.5 (浅い地殻地震推定)

●推定時期=早い場合: 4月29日 ± 5

(※今後の変化や前兆終息を確認後、検討し修正予定)

その他の可能性: 今後の変化による。

※地震前兆検知公開実験(FAXによる実験観測情報配信)では、他の地震前兆もあるため、今年に入って23枚の観測情報を配信しておりますが、当ホームページでは、No.1778前兆のみに限って続報しているため、間隔が開きますが、お許し下さい。また続報させて戴きます。